

令和4年度教育者表彰（文部科学大臣表彰）被表彰者の功績概要

とくだ よしみ
徳田 嘉美 （59歳） 三重県立伊賀白鳳高等学校長

- ・公立高等学校教諭として農業科教育の推進に尽力した。
- ・三重県教育委員会事務局充指導主事、課長を務め、本県の教育活動の充実のみならず、本県教育行政の発展に尽力した。
- ・公立高等学校長として、水産高等学校において、海洋科、機関科、水産製造・増殖科の3学科を乗船実習を中心に学ぶ海洋・機関科と、水産加工や養殖等について学ぶ水産資源科の2学科へ学科改編し、それぞれの学科の中で進路希望に応じたコースを選択できるようにすることにより、水産に係る産業界や地域で貢献できる人材の育成に努めた。また、教育活動の様子をホームページで積極的に配信し、開かれた学校づくりに徹した。工業・農業・商業・福祉の職業に関する専門学科が設置される伊賀白鳳高等学校において、地域で活躍できる人材を育成するため、地域の関係機関と連携した教育課程を編成した。また、県内ではGIGAスクール構想にもとづくICT環境の整備が令和2年度から進められたが、同校では、令和元年度中に学校独自でICT環境の整備を推し進めていた。その結果、令和2年度からの新型コロナウイルス感染症拡大防止に係る臨時休業に伴うオンライン授業や、ICTを活用した学習を率先して展開し、生徒の学びを保障した。
- ・三重県立学校長会長、副会長、書記として同会の運営に尽力した。

令和4年度教育者表彰（文部科学大臣表彰）被表彰者の功績概要

まつだ まこと
松田 誠 （58歳） 伊賀市立緑ヶ丘中学校長

- ・公立小中学校勤務経験により、9年間の義務教育課程を見据えながら、熱意をもって日々の授業づくりに取り組んだ。
- ・県教委上野教育事務所人権教育主事として、地域と学校の懸け橋となり、人権にかかわる諸課題の解決を図り、人権文化豊かな学校づくりを推進した。
- ・伊賀市教委事務局指導主事として、伊賀市の教育のため学力向上の取組や、人権教育の推進など、その力を遺憾なく発揮した。
- ・県教委事務局市町教育支援・人事担当主幹、人事監として、伊賀地域内の課題を的確に把握し、教職員の人事及び服務監督に尽力した。
- ・公立中学校長として、特別の教科となった道徳教育の推進や、一人一台端末をはじめICTを活用した授業づくりなど、率先して先進的な取組を学校全体で推進してきた。
- ・令和4年度三重県小中学校長会長、並びに全国公立小中学校長会副会長として、小中学校が持つ教育課題を明らかにし、関係機関と連携しながら課題解決に尽力している。

令和4年度教育者表彰（文部科学大臣表彰）被表彰者の功績概要

よしなが やすし
吉永 泰志

（60） 松阪市立伊勢寺小学校長

- ・公立中学校教諭として、美術の指導方法の研究と実践に取り組むとともに、それぞれの赴任校においても、職員の中心的な存在となり校内研修の推進に努めた。
- ・三重県教育委員会事務局松阪教育事務所同和教育主事、人権教育主事として、各学校において実践的な同和教育をおこなうための基盤を作るなど、教育内容の充実や指導方法の改善を図るために尽力した。
- ・三重県教育委員会事務局人権教育主事として、県内の小中学校に対し、豊かな教育経験と教育に対する真摯な姿勢で、それぞれの学校での人権課題や授業実践について、的確な指導助言を行い、人権同和教育の充実発展に尽力した。
- ・公立小学校長として、ICT機器を活用し、児童同士が互いに学び合う協働学習を促進するなど多様な学習を創造し、大きな成果をあげた。
- ・令和4年度三重県小中学校長会副会長として、小中学校が持つ教育課題を明らかにし、関係機関と連携しながら課題解決に尽力している。

令和4年度教育者表彰（文部科学大臣表彰）被表彰者の功績概要

おかじま よしのぶ
岡島 義信 (62) 青山高等学校長

- ・全寮制青山高等学校に奉職以来、教諭として理科教育の推進に尽力するとともに、寮生活を通じた、生徒の指導育成に尽力し、生徒指導、部活動、キャリア教育等に優れた功績を収めた。
- ・採用から数年間、寮監として親身になって生徒を指導し、慕われ、生徒や学園にとってなくてはならない存在となった。
- ・要職を歴任した後、教頭に就任した。周囲の厚い信頼を得るとともに、卓越したリーダーシップを発揮し教員の指導・とりまとめなどを行い、本校の発展・向上と幅広い教育活動の中枢を担った。部活動の充実も図り、生徒が生き生きと活動し、全国大会等で優秀な成績を収めるようになった。
- ・校長就任後は、上記に加え、不登校経験生徒および不登校生への指導、教育、保護者、教職員の支援に努めた。その活動は校内にとどまらず、広く社会的な支援活動としても行った。
- ・校内外の不登校生の保護者や教職員個別に助言し支援するとともに、不登校生を指導する人材育成に尽力した。
- ・新たな教育方針「21世紀双方向」教育を導入し、学校運営に尽力するとともに良い校風を樹立し、学校全体の教育効果を著しく向上させた。
- ・三重県私学協会理事として、私学全体の振興、私学教育の充実と発展に寄与するとともに、後進の指導・育成に積極的に貢献した。